

2029年住友理工グループ Vision (2029V)

理工のチカラを起点に 社会課題の解決に向けて
ソリューションを提供し続ける リーディングカンパニー

1	中期経営計画の考え方	01	4	2029V	11
	2029年住友理工グループVisionと 2025年中期経営計画の考え方	02		2029年のありたい姿	12
				社会課題解決を目指し、価値共創を加速する 3つの方向性と6つのマテリアリティ	13
2	理念体系	03			
	住友事業精神と住友理工グループ経営理念	04	5	目標	14
	住友理工グループの歴史	05		2029年目標（公益価値・企業価値）	15
	目指すべき企業グループ像／存在意義（Purpose）	06			
3	実現したい未来社会像と 当社事業の考え方	07			
	実現したい未来社会像	08			
	2029年に向けた事業領域の考え方	09			
	価値共創（技術・ソリューションの高度化／融合）の考え方	10			

1

中期経営計画の考え方

2029年住友理工グループ Vision と 2025年住友理工グループ 中期経営計画の考え方

様々な社会変革が常態化する中、フレキシブルに変化に対応するため、これまで5ヵ年で設定してきた中期経営計画の考え方を見直しました。

創立100周年となる2029年を節目とする長期ビジョン「2029年住友理工グループ Vision (2029V)」の策定に加え、2023年度から3ヵ年ごとの中期経営計画として「2025年住友理工グループ中期経営計画 (2025P)」を策定しました。

目指すべき未来社会像
自然と都市と人の空間が繋がる
グリーンで快適な社会

目指すべき
企業グループ像

Global Excellent
Manufacturing
Company

バックキャスト

2029年
創立100周年

2029年住友理工
グループ Vision
2029V

ありたい姿

理工のチカラを起点に 社会課題の解決に向けて
ソリューションを提供し続ける リーディングカンパニー

2029年に向けた3つの方向性

- 未来を開拓する人・仲間づくり
- 柔軟かつ強固な組織づくり
- 持続可能な社会に向けた価値づくり

2022V
2018-2022

- CASEを中心とした環境変化への対応
- SDGs への対応

2025年
住友理工グループ
中期経営計画
2025P
(2023-2025)

テーマ

さらなる収益力向上と
持続的成長に向けた経営基盤強化

2

理念体系

住友事業精神と住友理工グループ経営理念

「住友事業精神」は、住友家初代の住友政友が商売の心得を簡潔に説いた「文殊院旨意書」を基に、先人たちが何代にもわたって磨き続けてきたものです。

住友理工グループは、基本精神である「住友事業精神」と「経営理念」に基づく高い企業倫理の下、公正な事業活動を行うことを不変の基本方針としています。

住友事業精神

ばんじにつせい
萬事入精

まず一人の人間として、
何事に対しても誠心誠意を
尽くす人であれ

しんようかくじつ
信用確実

何よりも信用を重んじること、
すなわち常に相手の
信頼に応えること

ふすうふり
不趨浮利

常に公共の利益との
一致を求め、浮利を追い、
軽率、粗略に行動してはならない

住友理工グループ経営理念

住友事業精神を踏まえ、住友理工グループは、

- 1 技術革新を基盤にお客様の要望に応え、優れた製品・サービスを提供します。
- 2 安全を経営の最重要課題と位置付け、人・社会の安全確保に努めます。
- 3 地球環境に配慮し、よりよい社会環境づくりに貢献します。
- 4 高い企業倫理と遵法の精神で、世界各国の地域社会から信用・信頼される企業を目指します。
- 5 従業員の多様性、人格、個性を尊重し、活力溢れる企業風土を醸成します。

住友理工グループの歴史

住友理工グループは、1929年に三重県四日市市で創業して以来、多くの皆様のご支援により、事業活動を展開しており、2029年に創業100周年を迎えます。この間、戦争や天災等をはじめとする、幾多の社会状況や経済状況の変化がありましたが、全社一丸となり着実に歩みを進めてきました。

社会の変化・技術革新の流れは以前とは比べ物にならないほど速くなっています。また、環境問題への対応など、企業に求められる社会的責任もますます重いものとなっています。社会課題の解決に向け創業以来培ってきた技術力・モノづくり企業としての矜持を胸に、スピード感を持って果敢にチャレンジしていきます。



世の中の出来事

1929	世界恐慌	1954 - 1973	高度経済成長	1973 - 1978	オイルショック	2011.03	東日本大震災
1939 - 1945	第二次世界大戦	1964.10	東京オリンピック	1986 - 1991	バブル景気	2007 -	世界金融危機(リーマンショック)
1947 - 1949	第一次ベビーブーム (団塊の世代)			1995.01	阪神・淡路大震災	2020 -	新型コロナウイルスが世界的に流行

目指すべき企業グループ像／存在意義 (Purpose)

目指すべき企業グループ像

Global Excellent Manufacturing Company

常に世界を俯瞰し、社会から必要とされるモノづくりとは何か、自問・探究し続ける企業

存在意義 (Purpose)

素材の力を引き出し 社会の快適をモノづくりで支える

強み

素材の力を引き出し

『高分子材料技術』『総合評価技術』の高度化により、
素材が持つ無限の可能性を引き出し、追究し続けます。

提供価値

社会の快適を

お客様と一緒に磨き上げた製品で、「安全」「安心」そして、
人・社会・地球に対して、更なる「快適」を提供し続けます。

想い

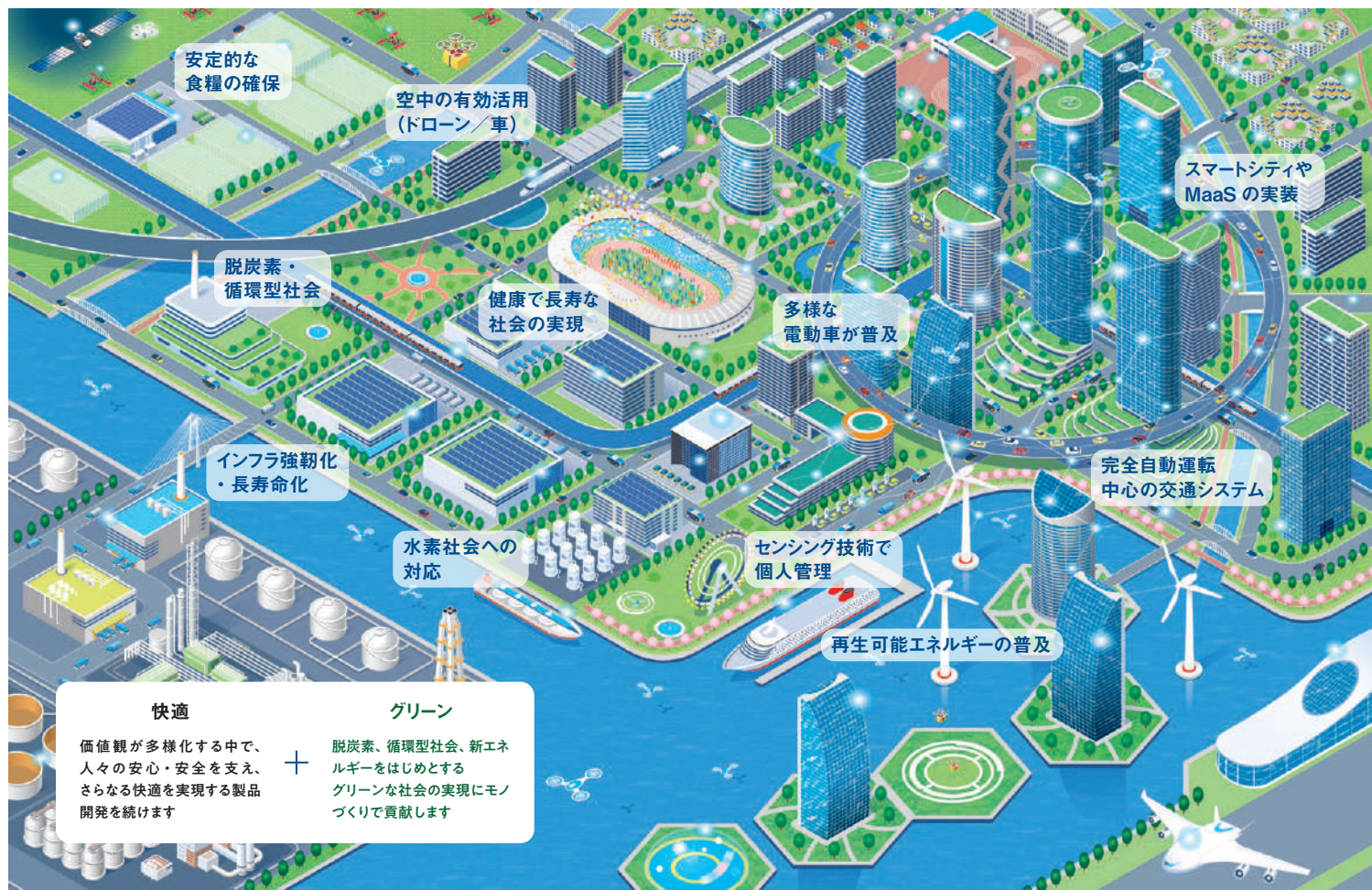
モノづくりで支える

先人が築き上げたきめ細やかな造り込みと
高い品質を重んじるモノづくり企業としての矜持を持ち、
時代を切り拓く付加価値をモノづくりに吹き込み続けます。

3

実現したい未来社会像と当社事業の考え方

実現したい未来社会像 自然と都市と人の空間が繋がる グリーンで快適な社会



快適

価値観が多様化する中で、人々の安心・安全を支え、さらなる快適を実現する製品開発を続けます



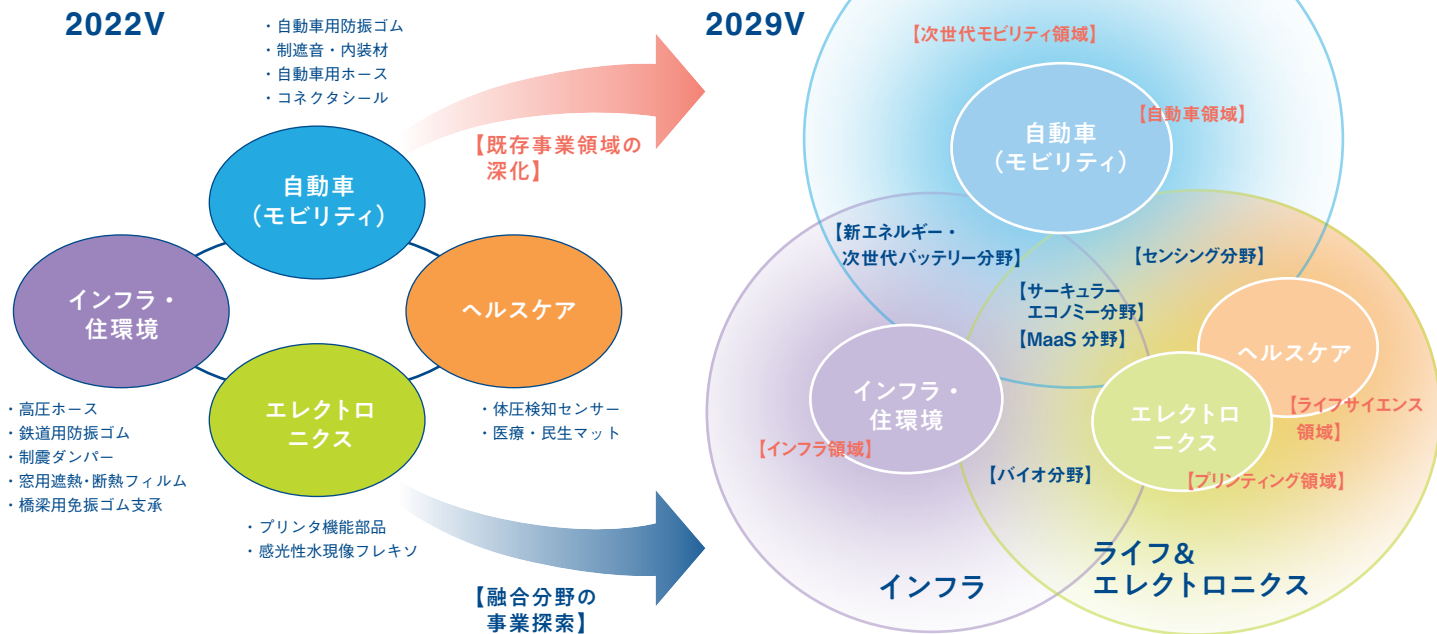
グリーン

脱炭素、循環型社会、新エネルギーをはじめとするグリーンな社会の実現にモノづくりで貢献します

2029年に向けた事業領域の考え方

グリーンで快適な未来社会に向け、当社が長期で取り組むべき課題は多様化・複雑化し、単一事業・ソリューションでは解決困難になります。

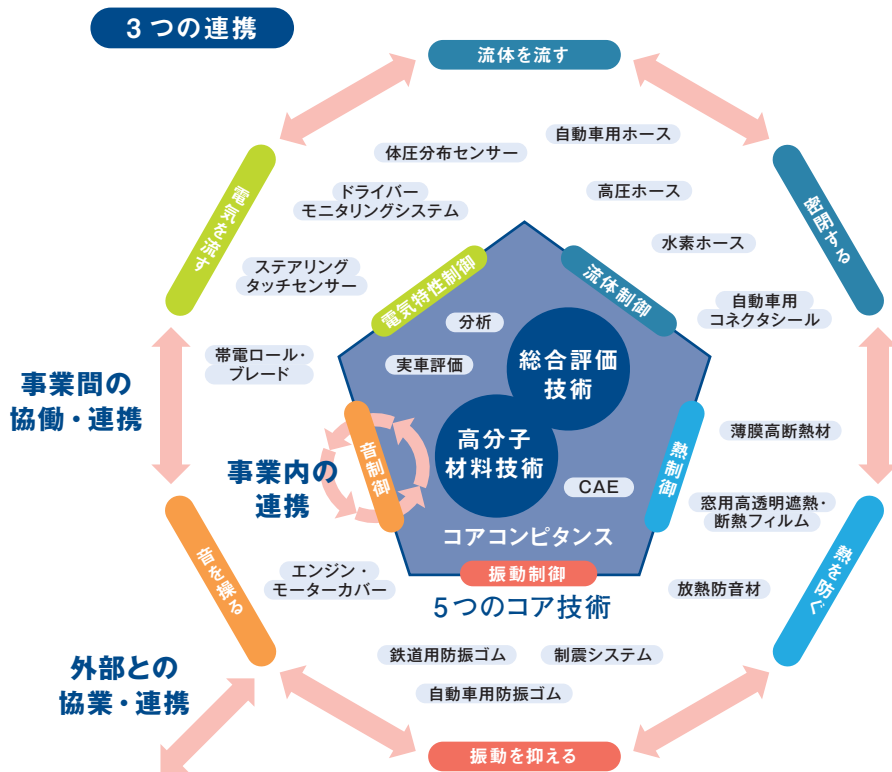
そのため市場・技術の親和性と成長性を踏まえ、4つの事業領域を「モビリティ・インフラ・ライフ&エレクトロニクス」の3つに統合し、既存事業領域の深化と融合分野の事業探索を加速し事業成長を目指します。



価値共創（技術・ソリューションの高度化／融合）の考え方

既存事業領域の深化や融合分野の事業探索を加速するために、コアコンピタンスを起点に

部門内の枠、部門間の枠、会社の枠を超えた連携によって“価値共創（技術・ソリューション高度化／融合）”を進めます。



価値共創例

[既存事業領域の深化]

電動車向けの快適価値向上

振動制御の高度化



BEV向け防振ゴム
振動制御技術を高度化し、BEVの乗り心地や操縦安定性の向上に寄与

[融合分野の事業探索]

車内センシングによる価値創出

電気特性制御 × 振動制御



ドライバー・モニタリングシステム
柔軟で電気を通す特殊なゴム材料で、走行中振動下での心拍数や呼吸数を推定

4

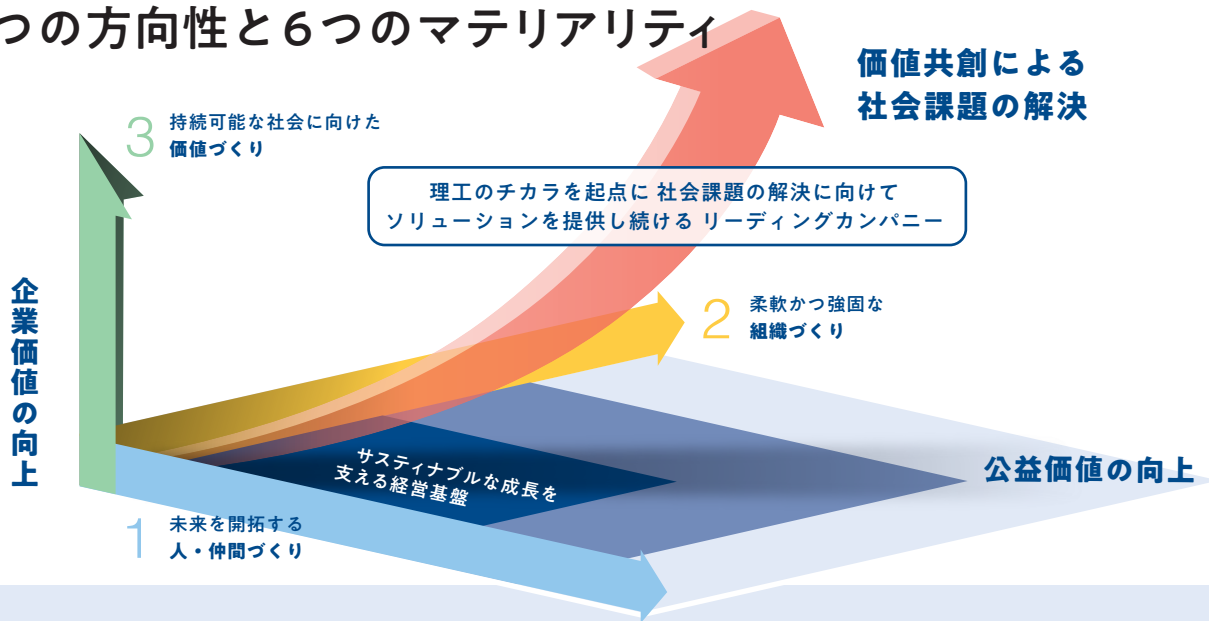
2029V

2029年住友理工グループ Vision (2029V)

[2029年のありたい姿]

理工のチカラを起点に 社会課題の解決に向けて
ソリューションを提供し続ける リーディングカンパニー

社会課題解決を目指し、価値共創を加速する 3つの方向性と6つのマテリアリティ



3つの方向性

- 1 未来を開拓する人・仲間づくり
- 2 柔軟かつ強固な組織づくり
- 3 持続可能な社会に向けた価値づくり

6つのマテリアリティ

- 1 個々の成長を促す育成機会の提供と働きがい溢れる企業風土の醸成
- 2 社内外のパートナーシップによる共創の推進
- 3 気候変動・自然資本に配慮した事業活動
- 4 環境変化に柔軟に対応できる経営基盤への変革
- 5 次世代モビリティ進化への対応と環境配慮型製品の提供
- 6 安全・快適の提供拡大に向けた技術の進化・融合

5

目標

2029年目標（公益価値・企業価値）

公益価値（非財務目標）

エンゲージメント	ダイバーシティ&インクルージョン	人材育成
経営理念やビジョンへの共感を高め、従業員と会社がお互いに選び・選ばれる、自律的な関係の構築	多様な人材が安心して働き、新たな価値を創造し続ける	高い志を持ち、未来を切り拓く自律型人材の育成
コンプライアンス	地球環境保全	
サプライチェーンを含めた、グループ・グローバルでの法令・企業倫理の遵守徹底	CO ₂ 排出量削減 Scope1+2 30%減（2018年度比） Scope3 15%減（2018年度比）	

企業価値（財務目標）

連結売上高	ROIC （投下資本事業利益率）	ROE （親会社所有者帰属持分利益率）
連結売上高 7,000 億円規模	10%以上目標	10%以上目標